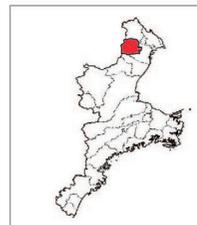




自然を感じる湯の山の宿

計画敷地



三重県三重郡菟野町湯の山

菟野町は、三重県の北西部、鈴鹿山脈の東山麓に位置する町である。面積の約半分が国立公園やその周辺の山地といった雄大な自然環境であり、町内西部にある湯の山温泉や御在所岳には毎年多くの観光客、登山客が訪れる。

菟野町湯の山へのアクセス
近鉄湯の山駅よりバスで約 10 分 / 東名阪自動車道・四日市により約 12 キロ

湯の山の自然

湯の山温泉地区は御在所岳といった雄大な自然景観を有しており、御在所に登れば琵琶湖、伊勢湾を一望でき、また天気の良い時には富士山をも遠望できる。また御在所岳だけでなく、三滝川を流れる清水や菟野石等といった自然景観もこの地区の資源である。

河川—三滝川、朝明川
山—御在所岳、鐘ヶ岳、釈迦ヶ岳、福王山、尾高山、余岳、雲母峰
公園—鈴鹿国立公園



湯の山の歴史

鈴鹿山系の御在所岳、国見岳、鐘ヶ岳に抱かれ、三滝川を中心に変化に富んだ深谷美が旅人の心を和ませてきた湯の山温泉。その歴史は古く、養老2年、浄業和尚が法師如来のお告げにより発見されたと伝えられ、傳つた鹿が傷をしたという伝説から別名「鹿の湯」とも言われ親しまれている。



画像：湯の山温泉HP

現状



現在この敷地には洋館風で高層のホテルが建っているが、湯の山の景観にあっておらず、駐車場を建設するために建てられた鉄筋むき出しの構造物は、自然景観を阻害しているといえる。

またその周辺には農家や空き家が多く存在しており、放棄時に目につくものとなっている。



提案



自然に溶け込む宿

湯の山だからこそ味わえる自然の魅力

より身近に感じる自然

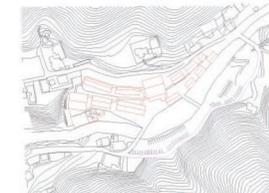
全体計画



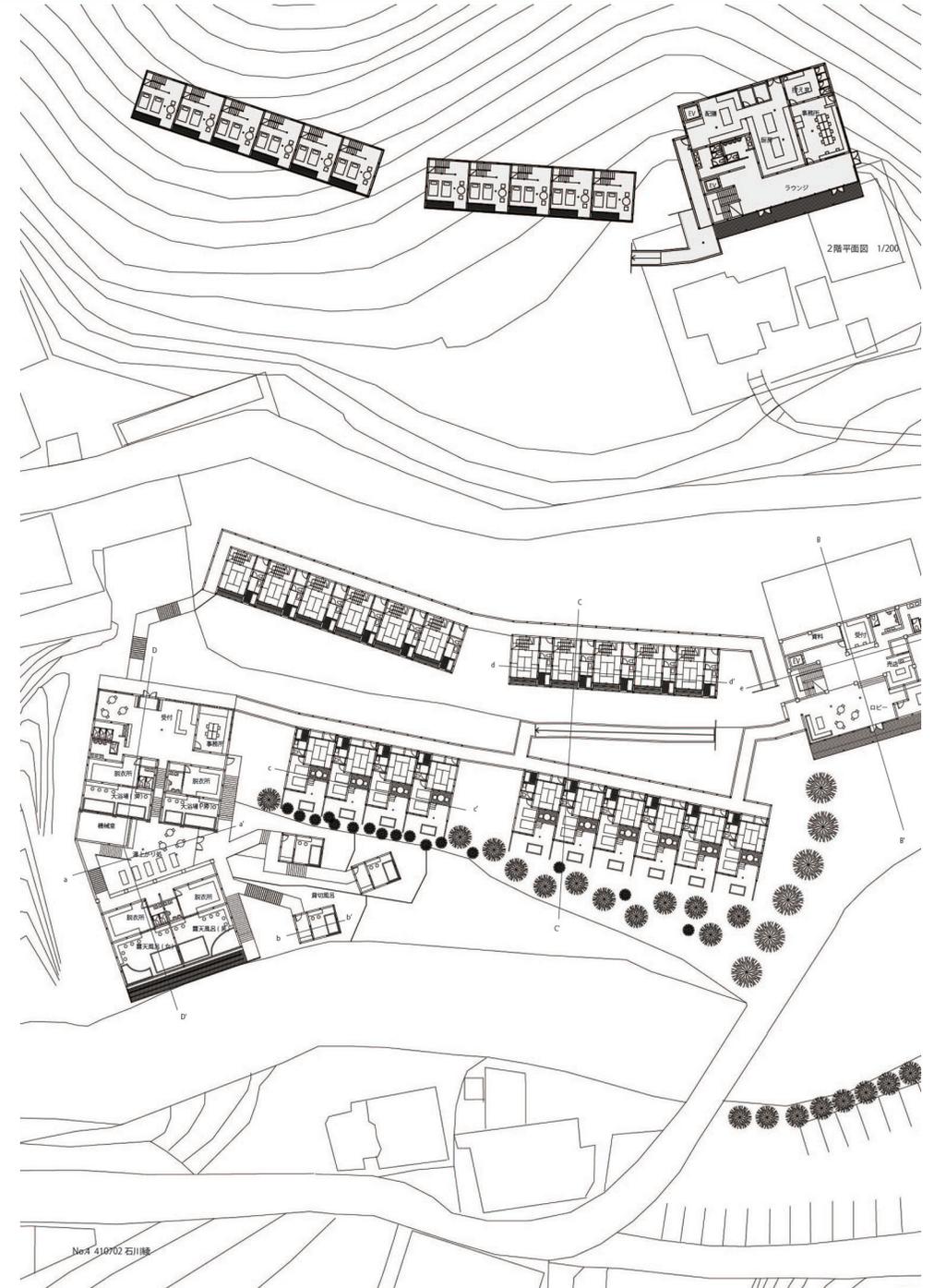
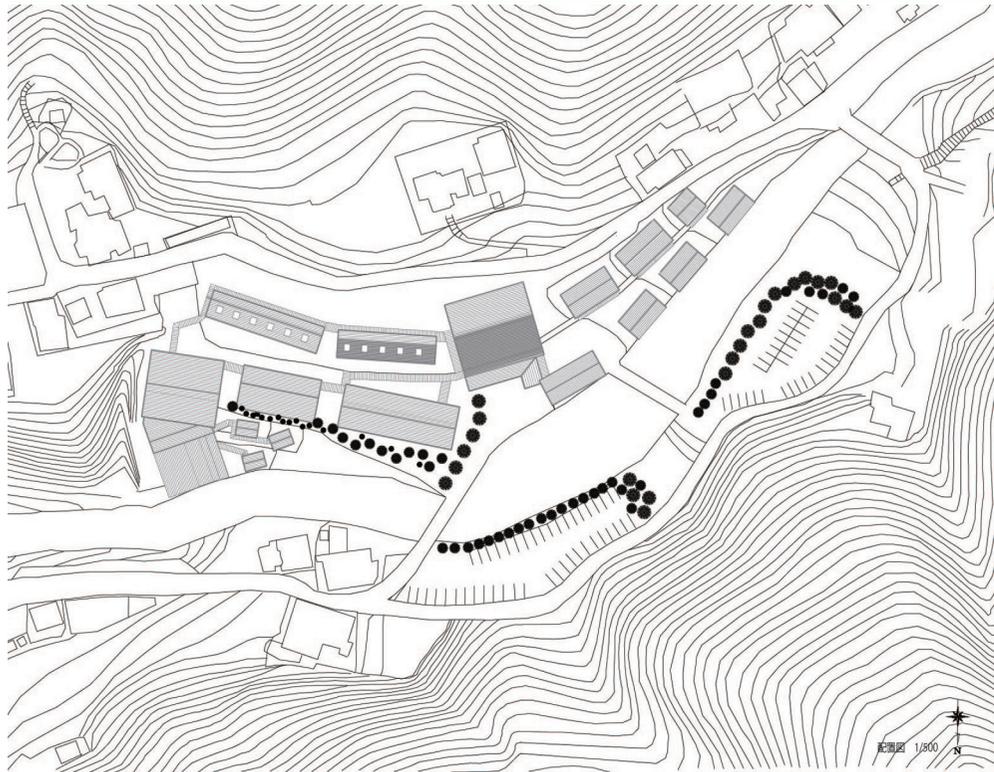
現在建っているホテル、またその周辺の農家を含めて敷地に設定する。山に囲まれ、川に接した自然豊かな敷地である。



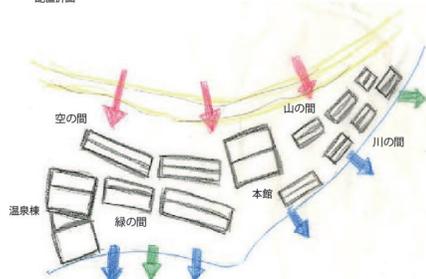
ホテル、農家などを撤去する。自然の地形を活かすよう、等高線に配慮した計画とする。



建て替えの際に道路を対岸側に変更し、また駐車場もそちら側に設置する。これにより、敷地内が四方自然に囲まれる形となる。



配置計画



等高線、川の流れ、向かいの山・・・
自然の地形に沿った建物配置。

風景の景観にもなじみながら
部屋からは川、山などの自然が一望できる。



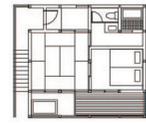
延床面積：3378㎡

本館：1007.9㎡	山の間：190㎡ (38㎡ 5部屋)
温泉棟：600.3㎡	川の間：187.2㎡ (62.4㎡ 3部屋)
喫茶店：100.7㎡	空の間：812.9㎡ (73.9㎡ 11部屋)
	緑の間：479㎡ (47.9㎡ 10部屋)

No.410702 石川綾



自然に触れる四つのお部屋

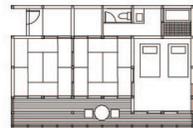


山
を望む

もともと高い位置にたつむ山の間

山への眺望

緑の景色

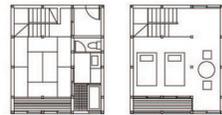


川
に親しむ

川に張り出したテラスをもつ川の側

水のせせらぎ

癒しの音

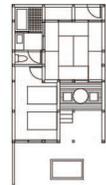


空
を仰ぐ

部屋の中から空を見上げられる空の間

天窓から望む空

夜の星、朝の光

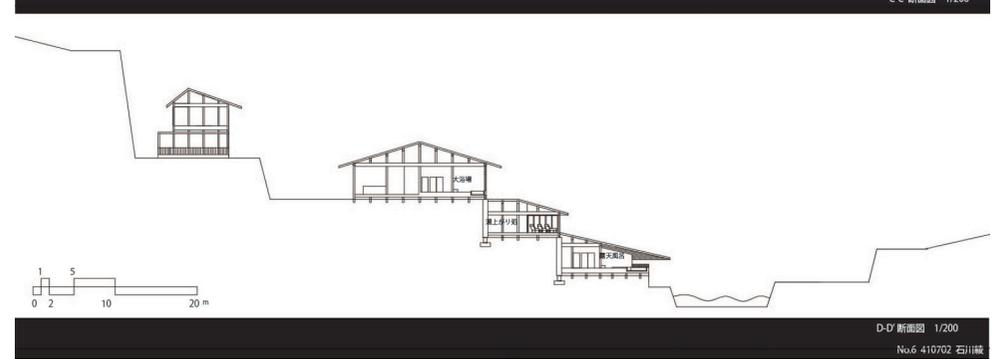
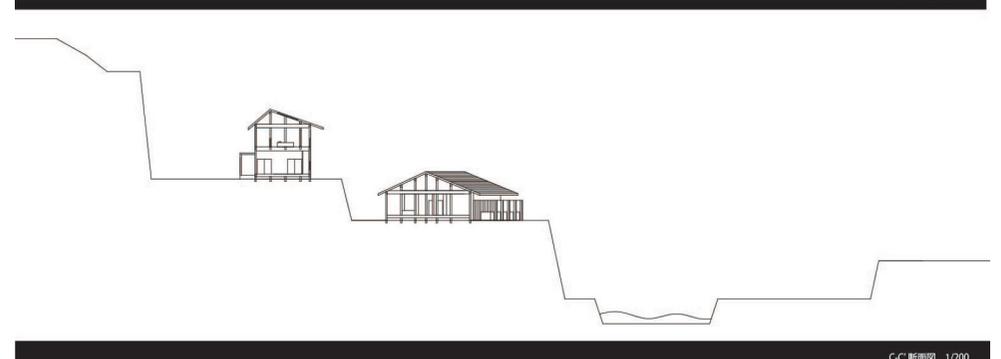
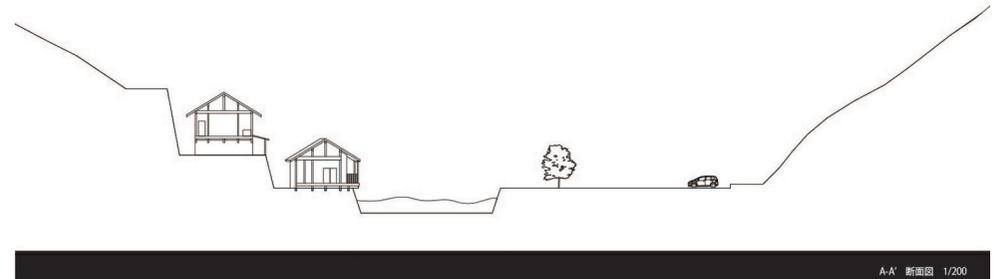


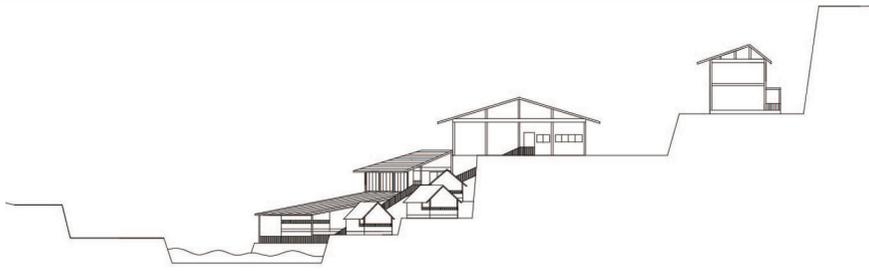
緑
に包まれる

緑の中にたつむ露天風呂をもつ緑の間

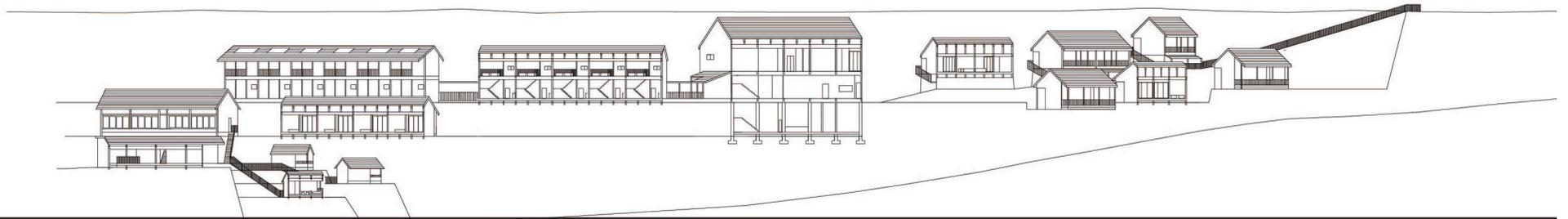
山の緑、木々の緑

緑の中で感じる安らぎ





温泉棟 西側立面図 1/200



a'-d' ~ g'-g' 断面図 1/200



0 2 5 10 20 m

